

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・事業所定員が埋まっていない状態のため、教室、訓練室とも適切な余裕をもって使用できている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8		・職員の休みがとりにくい ・人数が少ないときには声掛け確認を多くするよう心掛けている。 ・保護者支援と児の療育の観点では出席人数が多い時には厳しいときがある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		・視覚的支援が必要なお子さんなどに、写真、絵カードを作成し、使用している。 ・駐車場の確保で夏の暑い時期は日陰を用意している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		こまめな洗濯、消毒や吹き上げをして清潔を保っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		・毎月クラスの話し合いも行い、職員同士の共通理解を深めている。 ・日々クラス間で振り返りを行っている。 ・クラス会議の中で確認しあっている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		・保護者向け事業所評価の結果は職員間でも共有している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		毎年ホームページで公開をしている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	第三者評価を取り入れていないが、サービス向上委員が入っている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		外部研修への参加の他、内部研修も行っている。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		・PTOT等、多職種と連携して作成
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		・心理、言語の指導の中で専門職が検査・評価の内容をフィードバックされ情報共有している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		子どもの実情に合った支援内容を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		児童発達支援計画を職員間で共有して支援にあたっている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		クラスごとに活動プログラムを設定するが、全体でも確認を行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		・週案で繰り返しの活動や、今支援をプラスして習得させてあげたい内容を確認しながら立案をしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		・PT,OTの個別支援計画も併せて作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・毎日の支援前に打ち合わせを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・終礼として職員間で情報共有をし、振り返りを行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		
	関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		・訪問看護事業所含め連携をしている。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8		診断書等で児の障害や病気についての情報を得、協力医療機関の医師とも連絡体制は整っている。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・保育園との情報共有あり。 ・幼稚園に移行する児がいる場合は訪問して共有することがある。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		特別支援学校から求められ情報提供している。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	・園外の散歩時に機会がある。 ・コロナ禍もあり施設の交流はできなかったが公園等に行って声を掛け合ったり遊具等共有できた。
保護者への説明責任等	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	2	・ペアトレではないが、親子通園による療育という特徴を活かして、場面や状況に応じた介助方法や遊び方などを常に保護者と確認・共有し、必要に応じて面談や助言等を行っている。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・個別面談だけでなく、登園日に朝の受け入れ時等で対応することも多い
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		・保護者室を用意し、分離時間などに活用してもらっている。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		普段から相談を受けている。対応も迅速に行うことを心掛けている。

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	・感染症の予防のため、しばらくボランティアの受け入れを休止していたが、再開し始めた。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		・保健のしおりに感染症について詳細に記載してある。 ・バス利用の児にてんかん発作等の緊急対応が必要な場合は、バス添乗票にも添付し、キッズルーム全体で周知・共有している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		・看護師、栄養士とも協議しながら対応した。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		

- この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。